



2005年度

大分県当初予算に 関わる要請書を提出

県労福協は、来年度の大分県当初予算編成に向けて労働福祉に関する要請を、三役会議や幹事会で検討された内容に基づいて9月1日15時から県庁会議室で行いました。

この要請行動には、県労福協会長・副会長5名・事務局長の計7名で対応し、羽明会長の挨拶に引き続き要請書を手交、齋藤事務局長

いお たお 労 福 協

大分県労働者福祉協議会
機関紙 第58号

大分市中央町4-2-5
ソレイユ 6F
☎(097)533-1106
発行人 羽明 省三
2004. 9. 1発行

より要請内容のの説明と共に、11月末までに文書による回答を求めました。県側は商工労働部長以下、審議監・課長・課長補佐等7名で対応され、角野部長からは「要請内容については、誠意をもって検討し要請の期日迄には文書で回答したい」旨の発言がありました。

要請の主なものは、

- 一、中小企業サービスセンターの早期設置と既設センターの充実に向けた県としての助成・指導・助言の継続。
- 二、九州労金・全労済・総合生協・医療生協・県生協連などの共同事業団体の育成に向けた積極的な助成措置や支援。
- 三、少子高齢社会への対応として、介護保険制度の見直しやファミリーサポートセンターの早期設置と充実・強化。

などです。



労働者福祉意見 交換会の開催

【構成会員団体】

分組庫済協連協会館協連
大・金 生協連 生済会福
別 労 生協連 医共 社 福
要 産働 合生者 労民 勤区
連主 全総 県勤 県勤 地高

対県要請のあと、ひきつづいて「平成16年度労働者福祉意見交換会」が大分県南工労働部（部長以下7名）と県労福協（三役・7名）との間で開催されました。

内容は、まず県労福協から、九州労金・南征一郎大分県本部長、全労済および総合生協・藤元宏紀理事長、県生協連・太田耕作専務理事による事業団体の現況説明のあと、商工労働部から、中小企業サービスセンター・ファミリーサポートセンター・労働福祉融資制度・第48回労美展・労働講座・労働相談などの県としての主要な労働行政の内容説明がなされ、引き続き双方の内容報告を踏まえた活発な意見交換が行われたところです。



大分県労福協

年間主要日程を確認

6月29日の第19回定期総会で確認された新年度の活動方針に基づいて、具体的な取り組みの日程配置や当面する取り組みの検討を主要な議題とする県労福協・第2回幹事会を9月1日に開催しました。

主な行事計画を紹介すると共に、具体的な取り組みに対する会員各位のご協力をお願いします。

年通り

④福祉研修会

開催日時・場所：11月19日（金）13時30分～16時30分「全労済ソレイユ」

開催要領：講演と活動報告（講師および報告者は未定）

⑤ボウリング大会

開催日時・場所：05年3月27日（日）9時～「明野OBSボウル」

開催要領：前年通り

⑥文化活動

『第29回大分市勤労青年文化展』：労福協後援

開催日時・場所：04年9月23日（木）～29日（水）「アートプラザ」

『第48回大分県勤労者創作美術展（労美展）』：労福協共催

③役職員交流
チャリティーゴルフ大会

開催日時・場所：10月24日（日）7時14分スタート「大分サニーヒルGC」

開催要領：県労福協構成組織の役員・職員約100名、前

①機関紙
「おおいた労福協」の発行

8面構成、発行は6回／年、奇数月の初旬（原則1日）に発行

②05年度対県要請及び
労働者福祉懇談会

日時・場所：04年9月1日（木）15時～「県庁会議室」

対応：県労福協三役

⑦第20回定期総会

開催日時・場所：05年6月下旬「全労済ソレイユ7F」

労福協クイズ

15

簡単な設問ですので奮ってご応募ください。

①全労済大分県本部の
通常総代会は第（ ）回？

②「しあわせ〇〇プラン」は、九州ろうきんに
新しく登場した無担保目的融資商品の名前です。

応募
方法

・ハガキに、①、②それぞれの答えを書き、住所、氏名、職場名を明記の上送付して下さい。
・締め切り2004年9月30日消印有効。
・正解者の中から抽選により、10名の方に図書券をお送りします。
・当選者発表は、機関紙58号

あて
先

〒870-0035 大分市中央町4丁目2番5号
大分県労働福祉会館（ソレイユ）6F
大分県労働者福祉協議会編集委員会宛

◎この機関紙へのご意見感想などお寄せ下さい。

大分東地区労福協・福祉研修会開催

大分東地区労福協の恒例行事のひとつであり、今回で9回目を迎えた「福祉研修会」が8月1日の午後、地区労福協役員30名参加のもと、久住高原コテージで開催されました。

今回の研修カリキュラムは、「大分県労福協」「おおいた勤労者SC」「全労済大分県本部」「九州労金大分県本部」からそれぞれ講師を要請し、それぞれの組織や団体の現況と当面する課題などについて認識を深め、あわせて03年度の活動総括と次年度の取り組みに対する意見交換が行われました。

また8月24日には、第10回定期総会が開催され、新年度の運動のスタートが切られたところです。

大分西地区
労 福 協

ミニバレーボール大会

8月22日（日）コンパルホールで9チームの参加により第10回ミニバレーボール大会を開催しました。割れんばかりの声援のなか、接戦の末、優勝：挾間町役場、準優勝：大南サル軍団（大分市職労）、第3位：NND（西電労組）の結果となりました。

大分西地区労福協では、ボウリング大会・磯釣り大会・軟式野球大会・福祉研修会・チャリティーゴルフ大会・交流キャンプ・囲碁将棋大会を開催し、会員の連帯の強化に取り組んでいます。

第14回（機関紙57号）
クイズの答え②①
12 18

機関紙57号の第14回クイズに多数の応募をいただきありがとうございます。厳正な抽選の結果、次の10名の方が当選されました。また貴重なご意見ご感想ありがとうございました。

敬称略

大石 雅士（大分市） 小畑久美子（宇佐市）
野村 宣行（別府市） 加藤 則満（大分市）
菅田 里子（大分市） 大淵 鉄也（大分市）
徳 恵利香（大分市） 河野 洋子（佐伯市）
軸丸 恵美（佐伯市） 河野めぐみ（大分市）



全労済 大分県本部
第3回 通常総代会開催

全労済大分県本部は、去る7月30日に全労済ソレイユにおいて、第3回通常総代会を開催いたしました。総代定数341名中、出席総代115名、委任出席164名、計279名により総代会が成立し、議長団には東芝労組大分支部の高橋和善総代・全国一般大分地本の朝来素生総代の両氏を選出しました。

藤元宏紀全労済大分県本部理事長の挨拶の後、来賓の連合大分 羽明省三会長、労働福祉事業団体を代表して労福協 齊藤忠夫事務局長、大分県生活協同組合連合会を代表して足立勇一代表理

事より、それぞれ祝辞をいただきました。

議案審議については、第1号議案「2003年度事業報告承認の件」、第2号議案「全労済本部総会の議案審議について」以下、第9号議案「その他」まで異義なく満場一致で承認され総代会を終了しました。

なお、本年度は役員の改選はありませんでしたが、2003年度中においては選出団体・単組の役選等により、理事・監事あわせて7名の方が、変更になっています。2004年度の役員体制については次のとおりです。会員の皆様には、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

2004年 組合員環境活動助成
助成団体決定

全労済では、1992年より共済事業の成果の一部を広く社会に役立てるための助成事業を実施しています。今回「2004年組合員環境活動助成」にに対し、全国で88団体の応募があり、その中から84団体が選ばれ、総額1734万円が助成されることになりました。大分県では、下記の2団体が対象となります。

なかつ花と緑の ネットワーク

なかつ花と緑の
ネットワークの活動補助
助成金 **20万円**

さくら草の会

助成金 10万円

2004年度役員体制																									
九州地区本部(兼支店)	理事	監事	監事																		専務理事	副理事	理事		
	藤本忠夫	石本健二	阿部巖彦	丸山正彦	山本新彦	阿南智博	長田徳行	間所信也	戸高佳到	豊田隆二	野浜俊之	足立和敏	杉本健次	小代正人	花木保憲	馬場徳明	開田恵三	徳丸周二	羽田真二	大森政文	棚村和秀	岡本泰良	羽手川秀雄	藤元宏紀	

ZENROSAI NEWS

自然災害保障付
火災共済

- 全労済ならではの安心があります。
- 家計に負担をかけない手頃な掛金
 - 住宅の新旧を問わず再取得価額でお支払い

**火災共済に安心保障をプラス
(火災と同口での付帯となります)**

- 火災共済＋自然災害共済 10口あたり年掛金
木造・モルタル等 … 1,600円
鉄筋コンクリート … 900円
 - 火災のみ 10口あたり年掛金
木造・モルタル等… 700円
鉄筋コンクリート … 400円



7/13新潟集中豪雨被災状況 被害に遭われた方に心よりお見舞い申し上げます。

身近な被害から万一の災害まで、充実保障で暮らしを守ります。

火災共済で保障
火災などのサービス
地震・火災の保険から火災補償と地震火災の補償が受けられる。
商品保障額 **6,000** 万円

自然災害共済で保障
風水害などのサービス
台風・豪雨・大雪・津波・地震・風雪など
商品保障額 **3,000** 万円

風水害共済で保障
風水害などのサービス
台風・豪雨・大雪・津波・地震・風雪など
商品保障額 **300** 万円

地震共済・火災共済で保障
地震・火災などのサービス
商品保障額 **1,020** 万円

(注) 被害程度・加入口数によりお支払い金額が異なります。詳細は全労済までご確認ください。

保障のことなら

会 考 卷

主 办 单 位
全国少数民族语文学会暨中国语言学会

共済ショップ

大分県本部

(大分県労働者総合生活協同組合)

<http://www.zenrosai.or.jp/>

TEL 097-548-5511

総合生協
通常総代会開催

2004
年度

大分県総合生協は、去る7月30日15時30分より、全労済ソレイユにおいて全労済大分県本部の総代会に引き続き、2004年度通常総代会を開催しました。

豊田理事より開会の辞の後議長団および議事録署名人については、全労済大分県本部総代会より引き続きの就任、また、書記については、総合生協職員より2名の任命が発表されました。

議案審議については、第1号議案「2003年度事業報告承認の件」、第2号議案「2003年度決算報告承認の件および監査報告」以下、第11号議案「その他」まで異義なく満場一致で承認され、総代会を終りました。

なお、本年度は役員の改選はありませんでしたが、2003年度中においては選出団体・単組の役員等により、理事・監事合わせて7名の方が変更になっております。2004年度の役員体制については次のとおりです。会員の皆様には、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

[illegible]



グリーンウッド
かたしま台

グリーンウッドかたしま台 大分県総合生協の建売住宅販売中!!

暮らしを彩る、先進の設備・仕様が充実!

28,280,500円

(消費税・外構・カーテン・間取含む)





生協
SOGOSEI

大分県知事事務所171番1620号 大分県知事事務所に所管される
大分県労働者総合生活協同組合

大分県総合生協

大分市中央町4-1-32 ☎(097)548-5577

◆お問い合わせ先

グリーンウッド
かたしま台
販売センター

☎ 0120-557-887
TEL (097) 567-2300

水曜日
定休

ホームページアドレス <http://www.sogoseiky.jp/katashimadai/>

ホリテイおすすめNo.1

全日空チャーター便で行く

コース番号 433-4026-02

出発日と旅行代金
(大人おひとり様)

決定版

紅葉カナダ6日間

ハイライト紀行6日間

ナイアガラ・メープル街道・世界遺産 ケベック

9月 25日 **278,000円**

主催
近畿日本ツーリスト
九州メイト・ホリテイセンター
国土交通大臣登録旅行業 第20号

コース番号 433-4066

ハイライト紀行6日間

ナイアガラ・メープル街道・セント・ローレンス川
(サウザンドアイランドクルーズ)

出発日と旅行代金
(大人おひとり様)

9月 25日 **298,000円**

大分県総合生協旅行センター 大分市中央町4-1-32 TEL097-548-5515 [一般旅行業務取扱主任者 御手洗聖司]

二〇〇四年度 第一回評議員会を開催

二〇〇四年七月二十七日、全労済ソレイユにて二〇〇四年度第一回評議員会を開催いたしました。評議員定数二十九名に対し、出席評議員十七名、委任評議員十二名により、評議員会の成立が宣言され、議長に荒川正行評議員を、議事録署名人に足立和敏・小野好夫両評議員を選出いたしました。

その後、議案審議に入り、二〇〇三年度事業報告・決算報告並びに二〇〇四年度事業計画(案)・予算(案)が、満場一致で承認されました。

二〇〇三年度 決算状況

共済事業収入は、十一億一、六四九万円となりました。(医療扶助共済六億九四六万円、介護年金共済三億六、四九九万円、冠婚葬祭共済一億二、〇一十一万円、退職者共済二、〇八三万円、火災共済一〇八万円)これは、前年比で八、四五六万円の増収となっています。

一方、共済事業支出は、九億五、七二四万円となりました。(医療扶助共済四億八、三二二万円、介護年金共済三億三、〇七六万円、冠婚葬祭

共済九、七六八万円、退職者共済四、四三二万円、火災共済一、二六〇万円)これは、前年比一六九万円の増加となっています。

正味財産の増減については、増加の部は、共済事業収入一億四、九二四万円、公益事業収入六八万円、事業外・特別収入一、五三三万円となり、増加額合計で一億六、五〇五万円となりました。

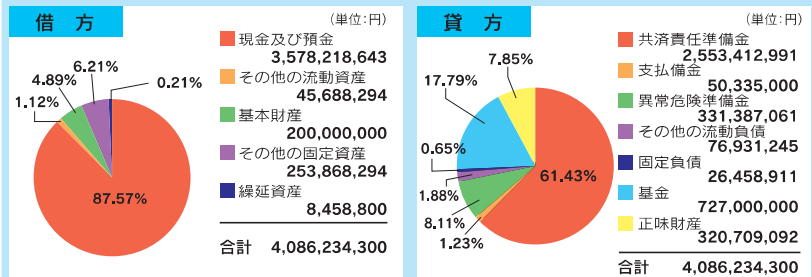
一方、減少の部では、公益事業支出四五二万円、管理費及び諸経費で一億一、一〇七万円、特別支出で四三三万円、総額一億一、九九五万円となり、当期正味財産増加額を四、五〇九万円計上することができました。

正味財産増減計算書 (2003年6月1日～2004年5月31日)

(総合) (財)大分県勤労県民共済会

科 目		
増 加 の 部		
共 済 事 業 収 入		149,241,946
火災共済剰余金	-180,142	
医療扶助共済剰余金	126,255,390	
介護年金共済剰余金	24,227,796	
冠婚葬祭共済剰余金	22,425,602	
退職者共済剰余金	-23,486,700	
公益福祉事業収入		681,000
公 益 事 業 収 入	681,000	
事 業 外 収 入		15,110,844
定期預金利子収入	2,100,217	
普通預金利子収入	9,751	
受 取 配 当 金	10,019,680	
雑 収 入	2,824,763	
役員員貸付金利息	156,433	
特 別 収 入		21,440
車輛運搬販売却益	21,440	
増 加 額 合 計		165,055,230
減 少 の 部		
公益福祉事業支出		4,521,741
教育研修活動費	3,204,980	
物 件 費	1,316,761	
管理費及び諸経費		111,077,459
人 件 費	31,557,961	
物 件 費	14,266,985	
事 業 費	65,252,513	
特 別 支 出		4,357,439
退職給与引当金繰入	3,640,911	
固定資産除去損	716,528	
減 少 額 合 計		119,956,639
当期正味財産増加額		45,098,591
前期繰越正味財産額 (うち基本金)		275,610,501
期末正味財産合計額		320,709,092

貸借対照表



監 事	理 事	常 勤 理 事	副 理 事 長	理 事 長
石 本 健 二	後 藤 俊 一	宇 野 稔	西 田 收	南 征 一 郎
				齊 藤 忠 夫
				中 村 稔
				小 手 川 秀 雄
				御 前 次 雄
				阿 部 蔵
				大 石 啓 文
				広 瀬 文 明
				橋 本 敏 雄
				大 場 光 夫
				朝 来 素 生
				挟 間 田 昌 治
				松 尾 竜 二
				飯 田 三 喜 雄
				山 崎 進
				龜 山 哲
				羽 明 省 三
				藤 元 宏 紀

二〇〇四年度 評議員

評 議 員
安 達 智 則
渡 辺 信 一
佐 々 木 直 行
豊 田 英 二
越 田 逸
羽 田 野 泉
吉 田 隆 生
下 川 忠
安 東 賢 明
藤 本 妙 美
荒 川 正 行
小 野 嘉 之
藤 田 敏 博
足 立 和 敏
長 田 徳 行
松 尾 美 保
吉 村 昭 秀
藤 田 裕 二
徳 永 和 夫
洪 谷 弘 文
岡 本 泰 良
園 田 英 雄
小 野 好 夫
坂 本 真 一
大 塚 秋 吉
河 津 曉 爾
柴 田 武 文
中 山 敬 三
吉 山 和 人



2004年度 国際共同組合デー 第18回 大分県大会開催



国際共同組合デーは、毎年7月第一土曜日の前後に、世界百力国で、協同組合運動の発展を祝い、平和とより良い生活を築くために運動の前進を誓いあう大会です。

大分県においても今年で18回を迎えた「国際共同組合デー大分県大会」が2004年7月13日(火)に大分市のコンパルホールで県協同組合協議会に加盟する11団体より、300名が参加して開催されました。

大会はまず、県協同組合協議会の小川和昭会長(JA大分中央会)が、「各団体の連携を深め、心豊かに暮らせる地域づくりに取り組もう」と挨拶、来賓として、大分県知事の代理として江川寛県農林水産部審議監が祝辞を代読され、引き続き来賓紹介で農林水産部管理課長の犬塚寛氏の紹介の後、大分県漁業協同組合女性部の倉本満子副部長が大会スローガンとして、「食料自給の大切さを考え、地元

の安心安全・良質な食料を安定供給し、健康的でよりよい暮らしを実現しましょう」など4項目を提案、続いて、生活協同組合コープおおいた県南ブロック理事の石田弘子さんが、「私たちは、ここに協同組合の価値と役割をあらためて確認するとともに食の安全性や安定供給、環境問題について積極的に取り組んでいくことの重要性を認識し、健康でこころ豊かな安心でき

る暮らしを実現するため、より一層努力することを誓います」と大会宣言を提案し、採択されました。

この後、「土から調べる」森林に学ぶ土の役割」と題してビデオ上映があり、昼食、プレゼント抽選会後、記念講演として俳優の増岡弘氏が「人をよくすると書いて「食」マスコオの美しい味噌づくり、心づくり」と題して講演を行いました。

「食や言葉は、人格の半分で大切なことであり、言葉は相手に対するプレゼントです。山形の中学校の講演で、子供たちが家庭からの手作りの弁当の持参や朝のあいさつ運動など頭の下がる思いがした。自分も作物を作っているが、よい農家は「土を作り、作物を作る」が、悪い農家では「雑草をつくっている」、食物に

対する思いやりがあり、このような環境の中で作られた食べ物については、「自分自身になる。大事にする粗末にしない。」を心がけている。

講師自身は、手作り味噌を作る自然法人「みそひともんちやく」を結成し、品評会などを開催している。と話し、参加者にも問い掛ける等時間を感じさせない講演となりました。



第13回 県連 平和のつどい



の家族150人が参加して「平和のつどい」を開催しました。参加者は、大分市の大手町公園に集合し、県連足立会長



県生協連では、8月2日(月)に親子で平和の尊さを考えようと、県内12生協より組合員やその家族から、開催の意義を訴えるあいさつがあり、平和を唱えた横断幕を掲げ、昭和通り・トキハ前を経由して県庁前まで行進し、道行く人々に平和の大切さを訴えました。

平和行進修了後、自治労会館で8月7日〜8日長崎市で行われる「ナガサキの行動」の壮行会が行われ、参加者44名を代表して県高齢者福祉生協の田上猛さんが「今こそ平和の尊さを真剣に考える時である。」とあいさつされました。引き続き、アニメ「えつちやんの戦争」の上映があり、戦争の悲惨さを痛感させられました。



暑い、暑いと言って過ごした、今年の夏の締めくくりに「大分協和病院夏まつり」を開催しました。

この「夏まつり」は、患者さんに一時の楽しみを味わっていただくとともに、地域の方々にも参加をいただいて医療生協への理解を深めてもらいたいと毎年開催しています。今年は、台風の接近で予定より1週間遅れの8月26日に



開催しました。残暑の厳しい中で、外来の方々の出入りに気を付けながら、勤労協の皆さんの加勢もいただいて駐車場にヤグラを組んだり、提灯を飾り付けたりと準備を整えました。

昨年から特別に出演していただいている庄内町の大龍神楽座の「国司」の公演もあることから、夕方6時半の開会時には大勢の方々がいっぱいになりました。

職員の間菓子、おでん、カラゲ、飲み物コーナーなどの模擬店と勤労協の焼きそば、かき氷は人気が高く、早々に売り切れが続出して、宮崎の神楽に引き続いて、自治会の自治会の方々の「盆踊り」が多かったです。

囲碁大会開催

大分協和病院主催で、恒例となっている健康クラブ「囲碁大会」を8月26日に開催しました。



会場は毎年お願している野津原の「あわせの丘」です。今年は、35名の参加がありました。

特別参加の中学1年生、堺井裕史さんが選手宣誓を行い、午前中には、それぞれのクラス毎にブロック別の予選リーグの対局を行いました。午後はリーグの上位者による決勝トーナメントが行われました。

参加者は常連さんや久しぶりの方に加えて初参加も4名あり、1局1局に熱のこもつ

た対局が見られました。

参加者の一人は、「この時期は、囲碁大会があるのが楽しみです。成績は別として、毎年、開催案内を心待ちにしています。」と話されていました。

【成績】

- Aクラス(2段以上)
 - 優勝 栗林 武二さん
 - 準優勝 衛藤 弘さん
- Bクラス(初段)
 - 優勝 隈井 猷吉さん
 - 準優勝 後藤 幸司さん
- Cクラス(二級以下)
 - 優勝 阿南 英雄さん
 - 準優勝 宮本 謙治さん

介護保険見直し報告から

厚生労働省の社会保障審議会介護保険部会は、2005年度の見直しに向けた、「介護保険制度の見直しに関する意見」と題する報告書を取りまとめました。

報告書の主な内容は、制度執行4年間の検証を踏まえて明らかにした課題の改善事項と、2015年以降の課題に対応するため、介護予防、痴呆ケア、地域ケアを重視したサービスモデルへの抜本的な転換をはかる事項が示されています。

具体的内容として、①「新・予防給付」創設と「予防視型

システム」への転換、②訪問介護の「家事代行」型の給付対象の見直しの検討、③「地域密着型サービス体系」の創設、④ケアマネージャーの標準担当件数と介護報酬の見直し、⑤「地域包括支援センター(仮称)」の創設、⑥介護職の資格は「介護福祉士」を基本とするなどがあげられています。

また、制度の根幹にかかる部分では、今回の改革の焦点であった「被保険者・受給者年令の引き下げ」について議論されていますが、2年前に施行されたばかりの障害者支援費制度との統合問題とも密接に関係する事項だけに、賛成・反対の両論が併記されています。

この「被保険者・受給者の範囲」についての慎重論は、①税で賄ってきた福祉サービスの保険方式への切り換えは、負担を安易に企業に転嫁する。②若年者が障害者となる確率は低く、保険システムにはなじまない。といったものです。一方の賛成論は①介護二

年令で制度を区分する合理性がない。②支え手の拡大で、財政的な安定性を向上させ、制度の持続性を高める。などといったものですが、介護保険財政の悪化と、支援費制度の財源不足の中で、厚生省サイドの思惑が、制度統合に向けて強くにじみ出たものとなっています。

「被保険者・受給者の範囲」については9月以降も集中審議が行われることになっており、その後は、年末の政府・与党の制度改革大綱の策定を経て、政府の改正法案が取りまとめられ、来年の通常国会に法案が提出されますが、制度の根幹となるこの問題が決着しなければ、介護保険制度見直しの具体的な作業は、進められません。

「就労等も含め、広く社会参加への支援」をめざすとした支援費制度と「高齢者の日常生活の自立支援」をめざすとした介護保険制度の理念・原則やサービスの水準、基盤には大きな違いがあり、財政論だけでは不十分な議論が望まれます。

脳卒中とたばこ

厚生労働省は8月24日、たばこを吸う人は、吸わない人に比べて男性で3.6倍、女性で2.7倍もの高い率で脳卒中の一種の「くも膜下出血」になりやすいことが大規模疫学調査研究で明らかになったと発表しました。

脳卒中全体でも、喫煙者の発症率が高く、たばこを吸わなければ日本で年間16万人の脳卒中を予防でき、1万5千人もの死亡を防ぐことができると試算しています。

研究班は、4~50代の日本人男女約4万2千人を1990年から11年間追跡調査し、喫煙と脳卒中の関係性を調べていますが、喫煙者には驚きの数字ではないでしょうか。

「しあわせ安心プラン」は、一度ご利用枠(極限額)を設定しておく、その範囲内で、ライフサイクルで発生するご用途に繰り返しご利用いただける低金利な無担保ローンです。

新登場 しあわせ安心プラン

「生活バランス」をしっかりサポート。ひとつの口座で、いくつもの安心を。

1 簡単・スピーディーに繰り返しご利用いただけます。
最初に決めたいご利用枠(極限額)500万円をあらかじめご利用いただけます。

2 一つの契約口座で
 自動車 車用・自己啓発 退職金 医療・介護 住宅
融通の生活資金全般にご利用いただけます。
一つの契約口座で複数のローンに利用いただけます。

3 一本にまとめてスリム化できます。
全額一本で複数のご利用が可能なため、まとめて一本でも、返済も楽です。

九州ろうきん
http://kyugokurugokin.co.jp/

推進委員研修会 ブロック別開催を予定

九州労働金庫大分県本部は、昨年まで毎年全県一本(大分市・二〇〇名規模)で開催していた推進委員研修会を、本年度より県下を六つのブロックに分けて開催していくこととしました。

ブロック毎に開催し地域の課題をテーマにすることで、会員個別組合にこれまで以上に労金を身近に感じていただき、推進委員を中心にした横のつながりを更に強めて行くというのがねらい。開催時期は十月、十一月を予定しています。

全県一本で開催してきた推進委員研修会については、幅広い課題を講演形式で開催したり、各金庫・支店の取り組み事例の報告いただいたりして、新たな発見や地域での取り組みの参考にするなど相当の成果がありましたので、三年に一度の周期で開催していく計画です。

8月22日大分支店において、24時間テレビの募金活動を行いました。当日はとても日差しの強い一日でしたが、多くの方から善意をお寄せいただきました。本当にありがとうございました。



24時間テレビ募金のお礼

予定ブロック

1	中津・宇佐
2	佐伯・臼杵・津久見
3	別府・国東
4	日田・玖珠
5	三重・竹田
6	大分・鶴崎・県庁・佐賀関